

## 【ポスター発表】

## ソーシャルワーカー養成におけるハラスメントに関する教育の検討（その2）

## —授業担当者へのインタビュー調査を通して—

○ 岐阜聖徳学園大学短期大学部 徳広 圭子 (002070)

中澤 未美子 (山形大学・009275) 坂野 剛崇 (大阪経済大学・009863)

銭本 隆行 (日本医療大学・009139)

キーワード：ソーシャルワーカー養成・ハラスメント・授業

### 1. 研究目的

社会福祉士あるいは精神保健福祉士（本研究では、これら両資格を SWr とする）の養成課程における教育内容は、2019（令和元）年6月に見直された。この中で「社会理論と社会システム」は「社会学と社会システム」に代わり、その「想定される教育内容の例」の中に「いじめ、ハラスメント」と記されている。また今回の見直しでは、選択科目をなくし全ての科目の履修を必修化した。そのため四年制福祉系大学等では、このカリキュラムが適用になる2021（令和3）年度入学生から「社会学と社会システム」は必修科目となり、SWrを志す学生は何らかの形でハラスメントについて学ぶことになる。

本研究は、このようなカリキュラムの移行期に、SWr 養成課程におけるハラスメントに関する教育の実情等を明らかにすることを目的とした「ソーシャルワーカー養成におけるハラスメントに関する教育の検討—養成校へのアンケート調査から—」（日本社会福祉学会第68回秋季大会、2020年9月）の続報として、授業担当者のインタビュー調査を中心に報告し、今後のSWr 養成におけるハラスメント教育の方途を模索する。

### 2. 研究の視点および方法

前述の養成校へのアンケート調査結果を精査し、インタビュー調査ではその回答を確認した上で、回答を補ってもらうこととした。そのためには、研究者らが必要に応じて質問し回答を掘り下げる必要があり、2019（令和元）年9月から12月にかけて調査協力に応じたくれた3名に対し、半構造化インタビューを行った。

主な質問項目としては、①調査対象者の基本情報、②ハラスメントに関する授業の経験、③ハラスメントを授業で扱うにあたり、大切な視点だと考えていること、④授業での工夫、である。これらをコード化し、カテゴリーを抽出した。

### 3. 倫理的配慮

本研究は山形大学地域教育文化学部倫理審査委員会の承認を得て実施し、調査協力者には調査の概要や守秘義務等を説明し、文書による同意を得て行った。（承認番号 R01-3）。また本研究の遂行にあたっては、「一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理規程」や「研究

倫理規程にもとづく研究ガイドライン」を遵守した。なお、共同研究者からは発表について承諾済みである。

#### 4. 研究結果

調査の結果、明らかとなったことは次のとおりである。①調査協力者は、それぞれの専門性やこれまでのキャリアから、受講生がSWrになるだけでなく、まず人として、また学生として、ハラスメントについて教育する必要性を感じ、担当する授業の中で取り上げていることにしていた。②ハラスメントについて、担当授業の中で1コマのすべてを割くことができなくても、折りに触れハラスメントのことを取り上げようとしていた。③授業を行う際に気をつけているのは、受講生がハラスメントの加害者にも被害者にもなりうることである。そのため受講生の中に被害者がいる可能性も念頭に置き、授業を行っていた。④授業の導入では、学生が体験する可能性がありそうなデートDVや、最近話題になることが多いLGBTなどを切り口に、映像や新聞記事などを使い、身近なところで起きていることを理解させようとしていた。またディスカッションやワークを行うほど時間を取るのは難しいが、コミュニケーションペーパーに授業の感想等を書いてもらって、次の授業でフィードバックするなど、双方向性を大切にしていた。

#### 5. 考察

SWr養成校において授業を担当する調査協力者に、その実態等についてインタビュー調査を行った結果、授業の中でハラスメントを取り上げたのは個人的な思いによるところが大きく、ハラスメントに関する教育は重要だと考えており、今後も担当する授業の中で、これまで以上に取り上げていきたいと考えていることがわかった。しかしながら、それはSWrがハラスメント相談に応じるというより、学生がハラスメントの被害者や加害者になる可能性を念頭においていることが多いことも明らかとなった。

一方で、本研究はインタビュー対象者が少なく、さらに調査を重ねる必要がある。その上で、SWr養成課程においてハラスメントを扱う際のガイドラインを作成するなど、さらに研究を深めていきたい。

#### 【参考文献】

1. 中澤未美子・徳広圭子・銭本隆行(2020)「ソーシャルワーカー養成におけるハラスメントに関する教育の検討—養成校へのアンケート調査から—」日本社会福祉学会第68回秋季大会・ポスター発表資料。
2. 坂野剛崇・中澤未美子(2021)「ソーシャルワーカー養成におけるハラスメント教育の現状と課題」日本司法福祉学会2020年度研究集会・ポスター発表資料。

謝辞 本研究はJSPS科研費JP18K02103の助成を受けたものです。